

○ 孤独感の把握方法（直接質問）

■孤独という主観的な感情をよりの的確に把握するため、この調査では2種類の設問を採用

①直接質問

■直接的に孤独感を質問

■この調査ではこれを「直接質問」と呼称

あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。

1 決してない

4 時々ある

2 ほとんどない

5 しほしほある・常にある

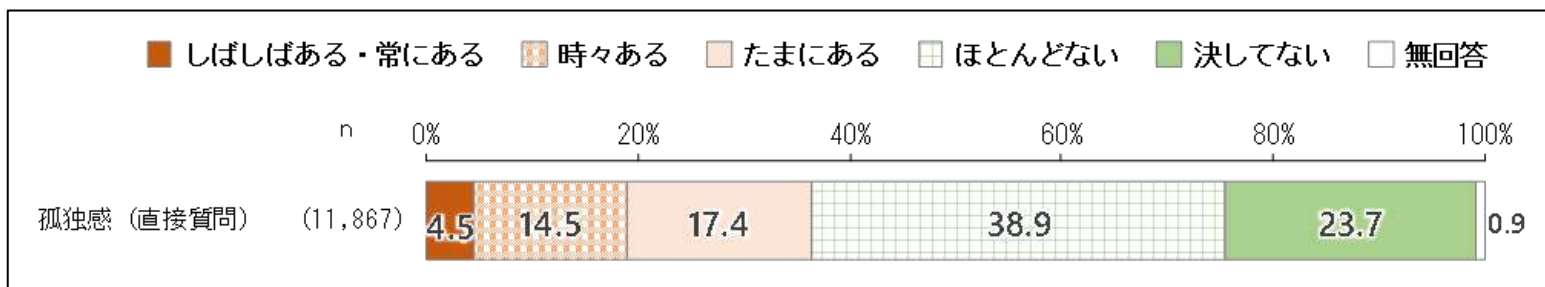
3 たまにある

○ 孤独の状況（直接質問）

- 直接質問の結果、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は4.5%、「時々ある」が14.5%、「たまにある」が17.4%であった
- 一方で孤独感が「ほとんどない」と回答した人は38.9%、「決してない」が23.7%であった



【図1】孤独の状況（直接質問）



○ 孤独感の把握方法（間接質問）

②間接質問

- 間接質問は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）のラッセルが、孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定するために考案した「UCLA孤独感尺度」¹の日本語版²の3項目短縮版³に基づくもの
- 設問に「孤独」という言葉を使用せずに孤独感を把握することから、この調査ではこれを「間接質問」と呼称

1 : Russell DW. UCLA loneliness scale (version 3): reliability, validity, and factor structure. J Pers Assess. 1996;66(1):20-40.

2 : 舩田ゆづり,田高悦子,他.:高齢者における日本語版UCLA孤独感尺度（第3版）の開発とその信頼性・妥当性の検討,日本地域看護学会誌.15(1) : 25-32,2012.

3 : Arimoto A & Tadaka E:Reliability and validity of Japanese versions of the UCLA loneliness scale version 3 for use among mothers with infants and toddlers. BMC Women's Health. 2019;19:105.

○ 孤独感の把握方法（間接質問）（続き）

②間接質問

■以下の3つの設問への回答を点数化

■その合計スコア（本調査では最低3点～最高12点）が高いほど孤独感が高いと評価

（「決してない」が1点、「ほとんどない」が2点、「時々ある」が3点、「常にある」が4点）

①あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じることはありませんか。

- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

②あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。

- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

③あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。

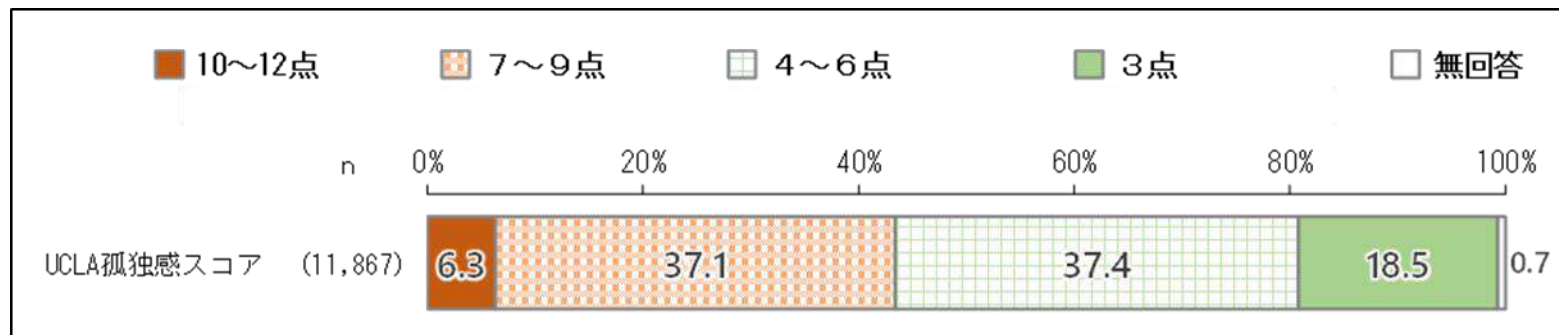
- | | |
|----------|--------|
| 1 決してない | 3 時々ある |
| 2 ほとんどない | 4 常にある |

○ 孤独の状況（間接質問）

- 間接質問の結果、合計スコアが「10～12点」の人が6.3%、「7～9点」の人が37.1%であった
- 一方で「4～6点」の人が37.4%、「3点」の人が18.5%であった



【図2】孤独の状況（間接質問）

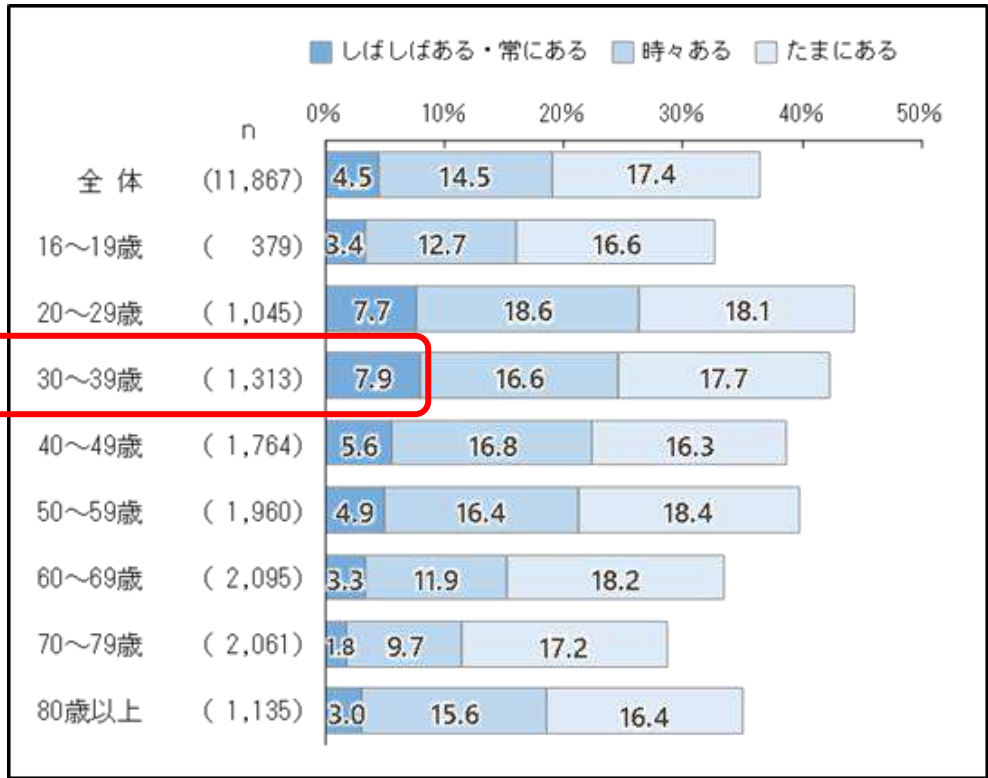


○ 年齢階級別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人について年齢階級別の割合は「30歳代」が最も高く7.9%であった
- 一方、最も低いのは「70歳代」で1.8%であった



【図3】年齢階級別孤独感

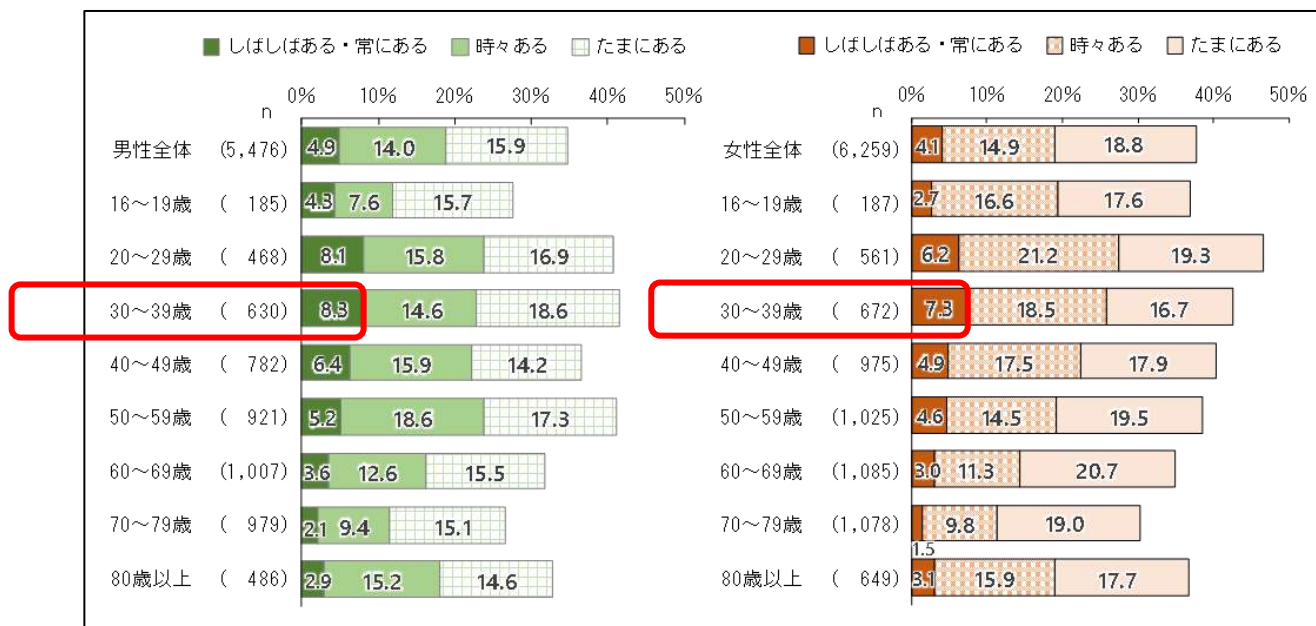


※以下、直接質問の結果を記載。

○ 男女、年齢階級別孤独感

- 男女別にみても、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は男女ともに「30歳代」が最も高く、男性が8.3%、女性が7.3%であった
- その割合が最も低いのは男女ともに「70歳代」で男性が2.1%、女性が1.5%であった

【図4】男女、年齢階級別孤独感



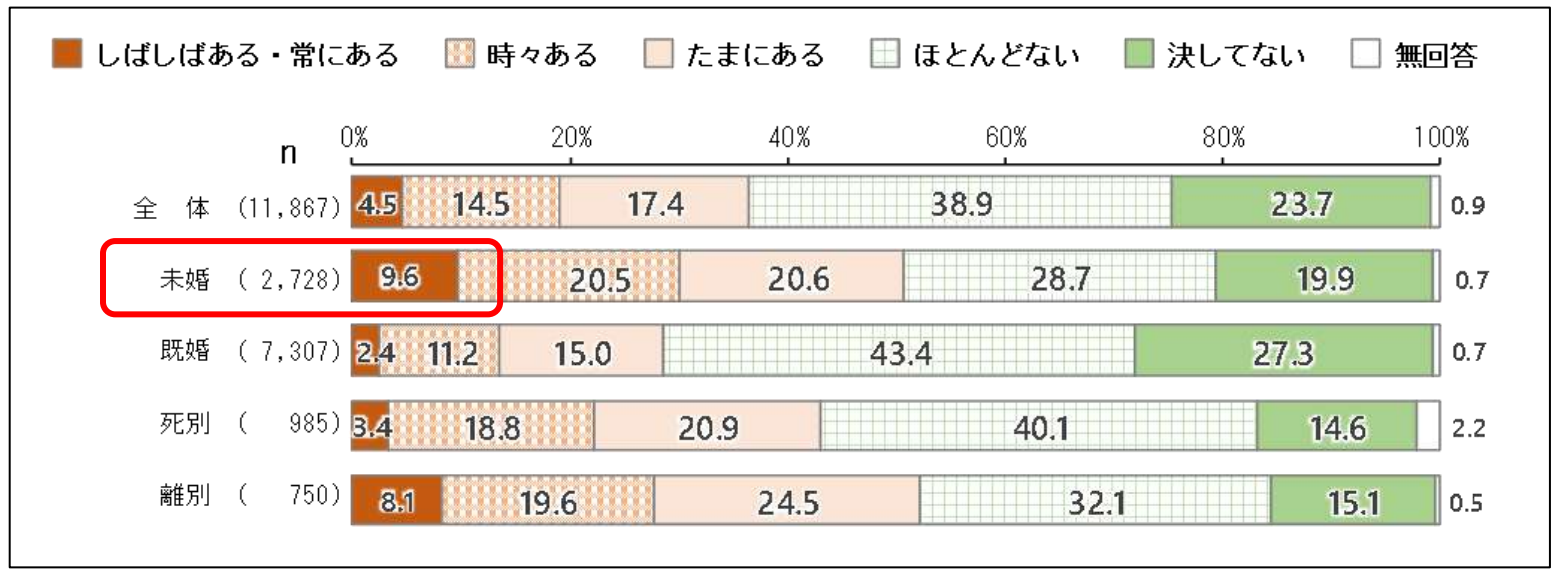
○ 配偶者の有無別孤独感

■孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、未婚者が9.6%、既婚者が2.4%となっている

※なお、この調査では配偶者には事実上、夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含めている



【図5】配偶者の有無別孤独感

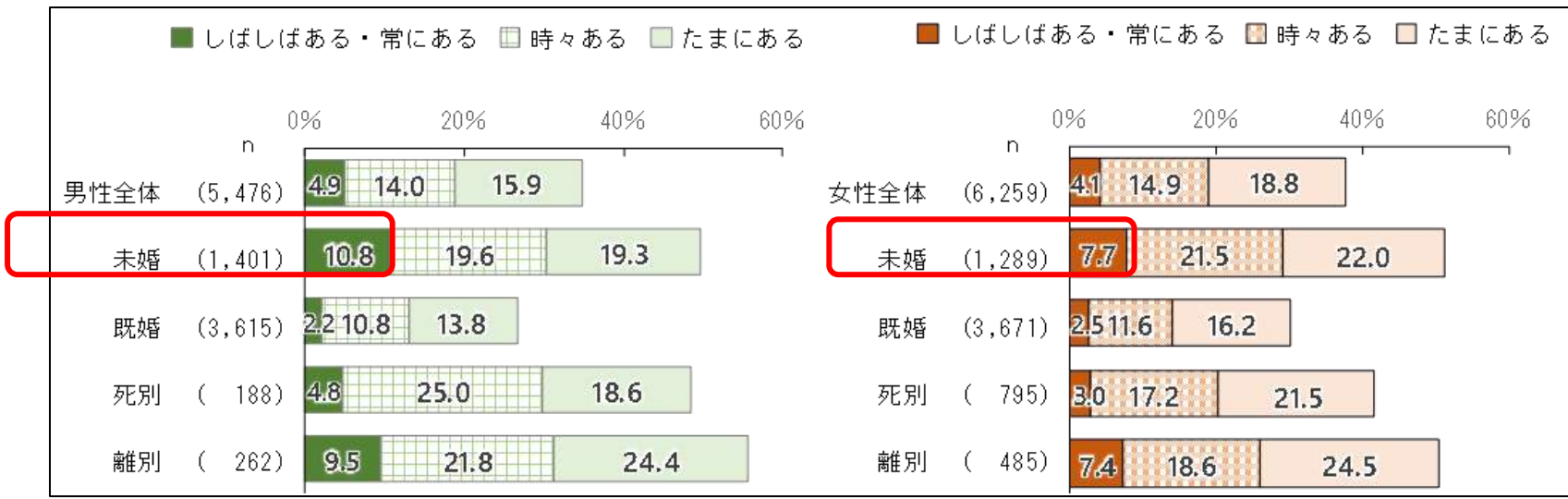


○ 男女・配偶者の有無別孤独感

■男女別にみても、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男女ともに未婚者が最も高い（男性10.8%、女性7.7%）



【図6】男女・配偶者の有無別孤独感

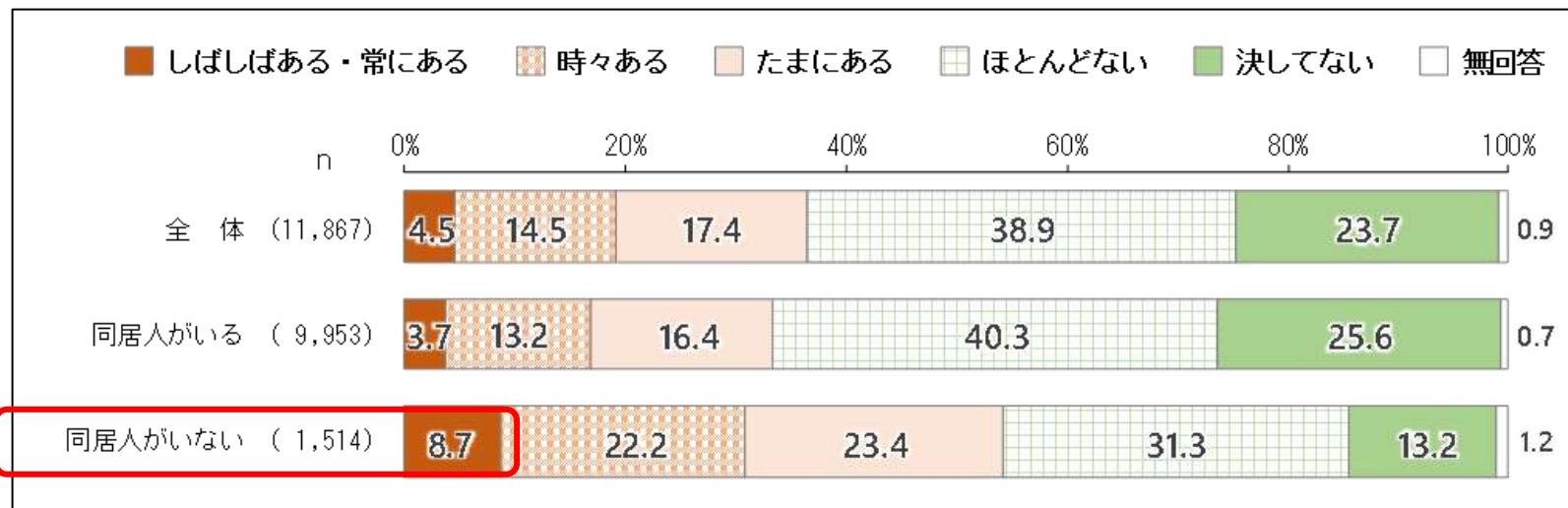


○ 同居人の有無別孤独感

■孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、同居人がいる人が3.7%、同居人がいない人が8.7%となっている



【図7】同居人の有無別孤独感



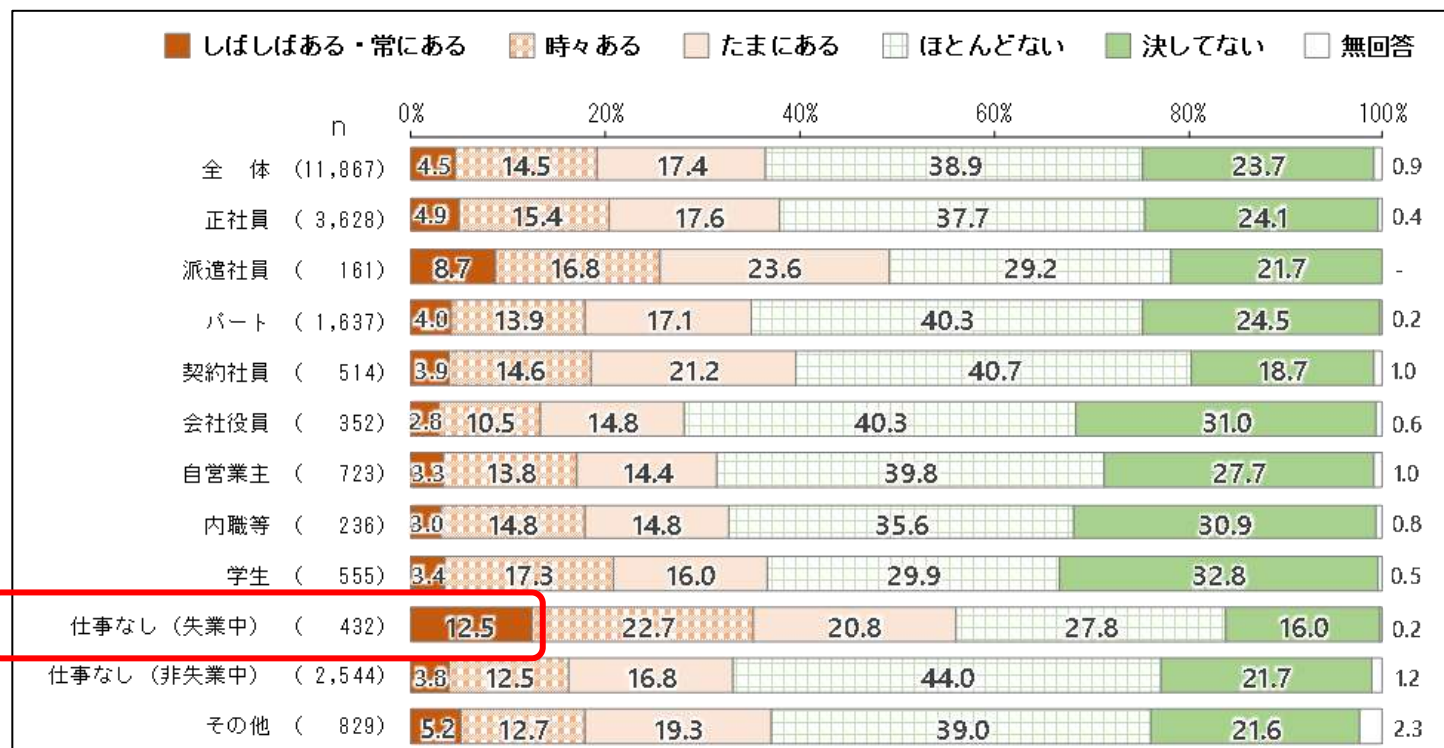
○ 現在の仕事の有無別孤独感

■孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、仕事なし（失業中）の人が12.5%で最も高い

■一方、その割合が最も低いのは、会社役員で2.8%となっている



【図8】現在の仕事の種類別孤独感

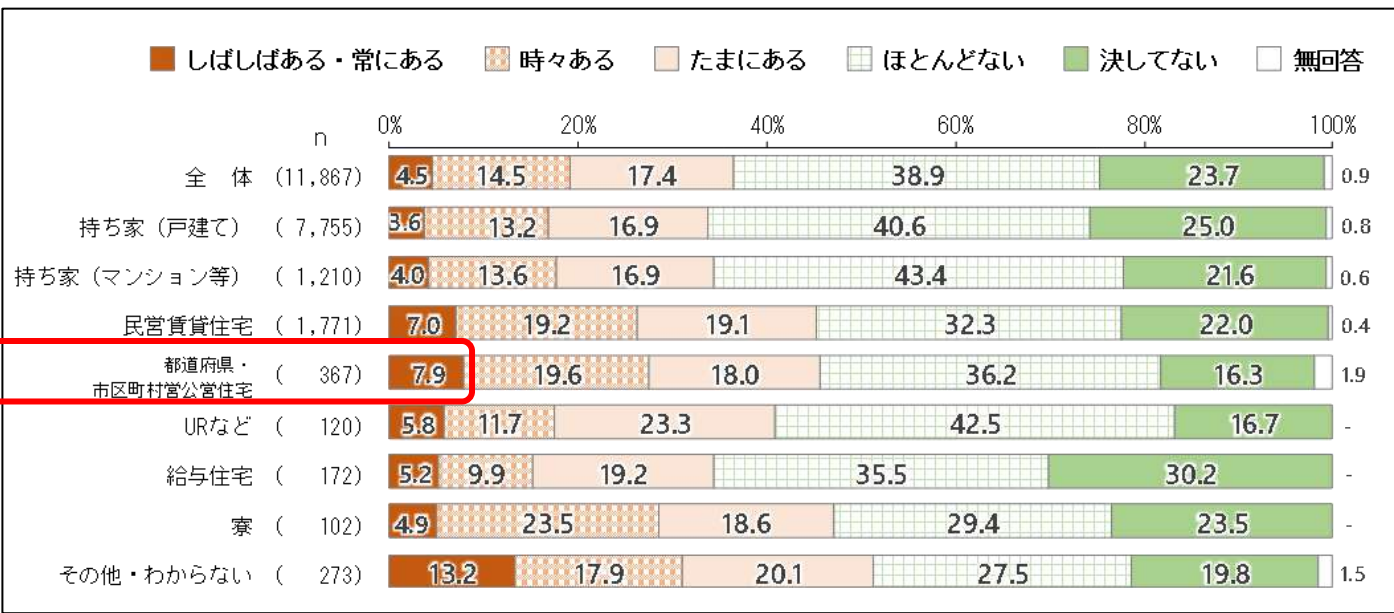


○ 現在の住まいの状況別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、公営住宅に住んでいる人が7.9%で最も高い（「その他・わからない」を除く）
- 一方、その割合が最も低いのは、持ち家（戸建て）に住んでいる人で3.6%となっている



【図9】現在の住まいの状況別孤独感



○ 世帯年収別孤独感

- 2020年の世帯年収（税・社会保険料込み）別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、年収100万円未満の人が7.3%で最も高い
- 一方、その割合が最も低いのは、年収1,000～1,499万円及び1500万円以上の人でどちらも2.7%となっている



【図10】世帯年収別孤独感

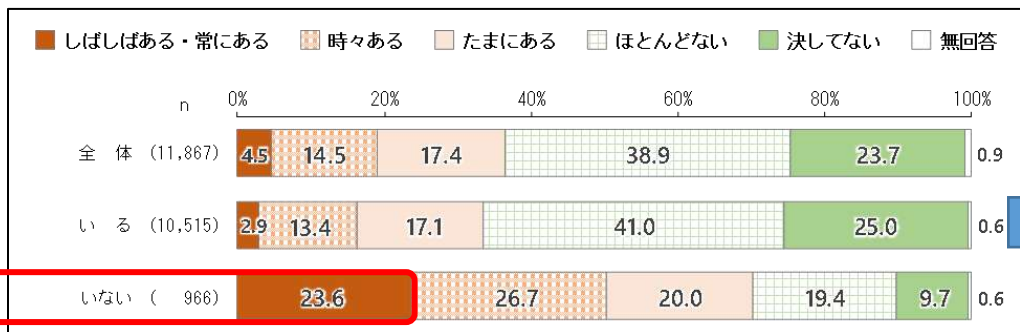


○ 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感

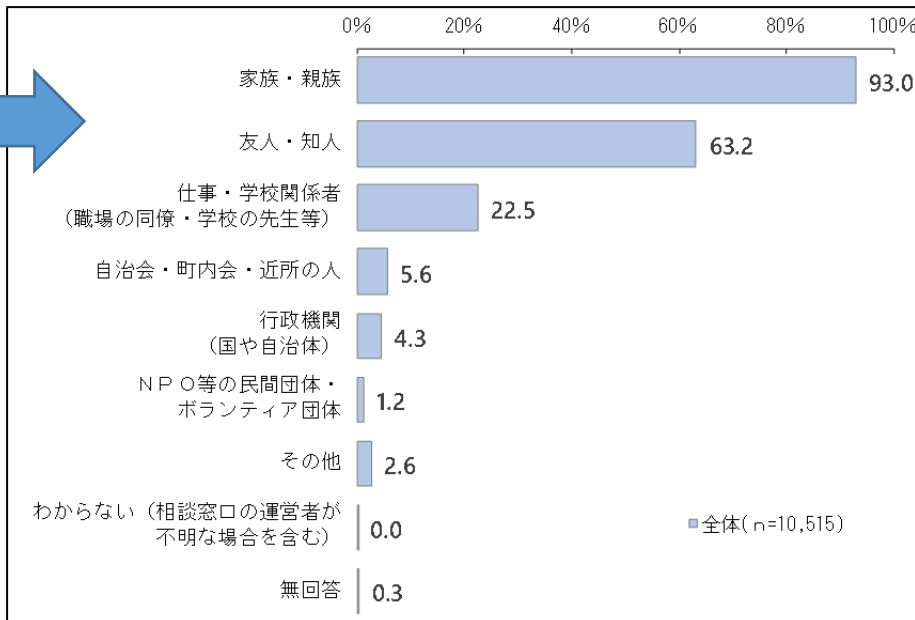
■孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、相談相手がいる人が2.9%、相談相手がいない人が23.6%となっている



【図11】不安や悩みの相談相手の有無別孤独感



【図12】不安や悩みの相談相手がいる人の相談相手の種類（複数回答）



○ 心身の健康状態別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、心身の健康状態がよくないという人が36.9%で最も高い
- 一方、その割合が最も低いのは、よいという人で1.4%となっている



【図13】心身の健康状態別孤独感

